

蒼生

そう せい

7 2022年
月号

死体検案認定医

名誉院長
飯島崇史

松本清張の長編小説に「黒革の手帳」というのがある。多額の金銭を横領し、銀座のママに転身した女性銀行員を主人公に描いた作品で、主演女優は古くは山本陽子、最近では米倉涼子、武井咲などが演じている。ストーリーとはまったく関係ないが、私の書斎の本棚には黒革ではなく、臍脂色のノートが三冊ある。一冊あたり144頁で、総数327件。1988年8月から私が検案したご遺体の詳細が日付ごとに記載されている。大半が人知れず死に至った孤独死の症例で、死亡推定時間の根拠になった所見、ならびに死因推定の根拠などを記している。ノートには体表所見などを図示する為、人体図の裏表をスタンプで表示している。警察官が聴取した経過、状況などの要約をはじめ、検案書作成

に必要な事項を記載していることは言うまでもない。発見状況、体表所見、瞳孔、角膜、結膜所見、死斑、硬直状況、直腸温、髄液所見（腰椎穿刺、後頭窩穿刺）、蛆の体長等々を記録している。（腐乱死体に巢食っている蛆の成長程度、蛹などの世代状況は死後経過時間の判定に重要であるが、この臭いは如何ともしがたい。）また、死後経過時間の推定を図にまとめた検視万能図版という虎の巻も常に携帯している。しかし、検視から考えられる死後経過時間の割に体温の下がり方の少ない死体がある。しかも皮膚が湿っている。球結膜が水分を含んで腫れている。目やにがたくさん付いている。こういう例は睡眠薬中毒の可能性がある。過去に一例だけ経験した。以前「検死雑話」と題し

て「広島県医師協だより」に投稿しているので、重複する自殺症例などは今回割愛する。物言わぬご遺体の無念の思いに心痛め、当時ブームとなっていた東京都監察医務院長上野正彦氏（監察医制度というのがあり、東京23区、横浜、大阪、名古屋、神戸では死体検案は監察医が行う。それ以外の地では、一般の医師が行う）の「死体は語る」などの死体検死医シリーズを愛読していた勤務医の私は、比較的時間が自由であったので、昼夜を問わず警察からの検死依頼に応じていた。一日3件、という日もあった。

夜間の出務では思わぬところで影響があることが後に判明して、苦笑してしまっただ。我が家の前の通りは「ヤクザ通り」と陰口をたたかれていたそう。隣は福山第一劇場のオーナー宅で、地方回りの芸人たちがよく出入りしていた。また我が家は人相の悪い主人がいて、夜な夜な警察に連行されて取調べを受けている。2時間ほどで釈放されるが、パトカーの警官が敬礼をしているのがふに落ちない。とうわさされていると近所のヒトから教えてもらった。迎えに来るのに覆面パトカーが無く、白黒のパトカーで来たことが数回あって目立ったのである。2003年から日本法医学会は死体検案認定医制度をスタートさせた。検死の質を向上させるためであるとか。受験資格が厳しく問題となった。一、100例以上の検死経験、二、日本法医学会の会員であること、三、法医学教授の推薦状があること、四、学会発表または学会誌での論文があるこ

と。このうち四が難関である。救済措置として前年にそれまでの経験者を対象に模擬試験を行い暫定資格を与えた。私は日本警察医会で二度発表していたので有資格者として正規の受験に臨んだのである。医師国家試験を受けて、これでもう一生受験とは縁がなくなつたと思っていたが、26年目に再び受験を経験することとなつた。受験は広島大学法医学教授室で行われ試験官は長崎大学法医学教授であつた。たった一人の受験の為日曜日二人の教授の手を煩わせることとなり、恐縮の極みである。数ある試験問題の中で特に目を引いたもの。銃創痕の写真である。問題、銃創痕であるがこれは射入口であるか、射出口であるか？またその距離は？一般に我々臨床医が行う死体検案は、あらかじめ警察官による検視を経て事件性の無いことが確認されたもので、他殺などの事件性のあるもの

は司法解剖の対象となる為銃創痕など見る機会は皆無に近い。しかしいまさら異議を唱えても試験問題はどうしようもない。学生時代に戻つたつもりで考えた。硝煙や未燃焼火薬粒の付着を認めるので、近射による射入口である。後日合格通知と認定証書が届いた。ちなみにこの日受験したのは私を含め、全国でわずかに3名のみであつたそう。もちろん全員合格であつた。苦勞して取得した資格ではあるが、其の後副院長から院長に昇格し、責任負担が大きくなつて自由に病院を空けることができなくなつた。次第に検案要請を断る回数が増えて、更新件数を満たすことが困難となり、現在は後輩たちに業務を委ねている。また搬入されたご遺体についてはCTなどを用いて検案に協力しているのが現況である。最後に、本文中で使い分け

ている言葉の解説をしておこう。
検視…変死体が犯罪に関係あるか否かを判断する為に死体の状況を調査すること。検視を行うのは検察官や、その代行者である警察官（司法警察員）
検死（検屍）…死因などの医学的判断をすることを目的に死体を検査すること。
司法検視…異状死体の死因が犯罪と関係あるか否かを調査する。
行政検視…行政法規に基づき犯罪死体や変死体をのぞいた異状死体に付き、死因の究明を中心に行われる
たまたま医師会理事在任中に死体検案にかかわることとなつて、数多くのご遺体に接することとなつたが、死者の尊厳を保ち人権を守るために、医学的、社会的客観性を持つた死亡状況の判断が欠かせないことを痛感した次第である。私が検案した全ての皆様のご冥福をお祈りいたします。

とても他人のことを言えた柄ではないが、今までたまさかの幸運に恵まれていただけで、これという大きな自然災害に遭遇することなく、自然にあこがれ、秘境と言われるところをのぞいてみたいという欲求を抑えることが出来ずに生きてきたように思う。しかし信じていた歯車の一部が安全を担保するものでなくなつたとき、自然は大きな脅威となつて襲いかかつてくるものと認識すべきである。

先般4月23日、知床観光船の不明情報が日本全国を飛び交つた。同日乗員乗客26名を乗せて荒天下、KAZU1は他社の船が出航を見送る中、ただ一隻ウトロ港を出港し、「カシュニの滝」のあたりで不明となつたのである。地元漁協、海上保
安庁などが連日搜索を繰り返し、いまだ行方の分からない人も若干いるものの、今までに大半の死亡と水深120mの海底に沈んでいる船体を確認した。
その後、社長の謝罪会見などにより、数々の安全上の不備が公となつた。事前にこれらの情報を知っていたなら、多くの客は乗船しなかつたのではないか。少なくとも私なら、そのようにする。
私も登山経験から、一般人より危険情報を多く持つているつもりだが、そのすべてが直ちに自分の身に降りかかるとは思つてもいないし、予定を途中で中止する決断の難しさも知っているつもりだ。自然災害はとてつもなく大きなエネルギーを伴うだけに、それに対する対

ニユース雑感

知床観光船遭難事故

名誉院長

飯島崇史

応にも、性根を入れた取り組みが必要とされるのは当然であり、詳細な情報開示並びに中止に関わる冷静な決断力などが不可欠である。しかし残念なことに、多くのケースで会社の体質に由来する事案がみられることがあるのも事実である。

私たち夫婦は以前、登山に関して「アミューズトラベル」という会社の登山ツアーを利用していた。それぞれの体力、経験などに合わせて、海外登山から日本百名山などに至る各種登山のコースの中から選ぶことが出来るもので、新幹線でたまたま乗り合わせた登山姿の府中市の高齢ご夫婦から後日資料を送ってもらい知ることになった。過去形で記載したのは、その後遭難死亡事故を二度起こして問題となり、会社が解散、消滅したからである。詳細は後程述べる。安全に関する経験をした

事例について。東北の百名山「吾妻山、磐梯山、安達太良山」の三座を巡るコースでのこと。初日、台風の影響で小雨交じり。風が強かったがロープウェイは運航していたので利用して高原駅まで。関東から来た中高年の女性ツアーも乗り合わせており、ガイドはNHK教育TVで見たことのある登山家岩崎元郎氏であった。しばし天候、風の状況などを確認したのち、ツアー客を集めて毅然とした口調で「天候不良のため登山継続は危険を伴います。よって本日の登山は中止します。帰りましょう」と言って下りのロープウェイに乗り込み帰っていった。一方、我々のツアーガイドは九州、広島、名古屋など遠方から飛行機利用で集まった客に遠慮があったか、風向きを見て「山頂を

超えたら風は弱まるので、注意して登りましょう」と

言って、登山継続を決定した。しかし、山頂近くで女性客が風にあおられてバランスを崩し、足を負傷。何とか山頂にたどり着いたが、残りの二座登山継続は不能と判断し、サブガイドに支えられながら下山していった。その後、ツアーは特に問題なく三座踏破は終了したが、この会社の安全に対する経営姿勢が後日、重大遭難死亡事故につながる

ことになるのはこの時点ではまだ思いもよらなかった。重大遭難死亡事故で世間が騒然となった一件目は2009年7月16日北海道大雪山系トムラウシ山4泊5日のコースで起こった。参加者15名（男性5名女性10名）ガイド3名の計18名のうち、低体温症で8名が死亡した遭難事故。気象遭難に分類されるもので、後の検証によれば、天候判断および撤退判断のミス、並びに対応

の遅れによる低体温症が原因とされた。前日から雨が降っており、日中気温は8℃10度、風速20〜25mで台風並み。またツアー客の一部が軽装備だったことが後日指摘されたが、事前確認はされていなかったとのこと。ちなみに同日、旭岳登山パーティはNHKの同じ天気予報を聞いて、夕方まで荒れ模様と判断し、登山計画中止を決定。からくも遭難を免れた。後日の検証で女性登山客の一人は一枚のアルミ製救急シートを持っていた。これを体に巻き、体温低下を防ぎ得て一命をとりとめたと述懐していた。また死亡したガイド西原さんは広島の方で海外登山もこなす経験豊富な方で、我々夫婦と顔なじみであったが、リーダーとしての職責を果たそうとして命を落とされた。誠にお気の毒としか言いようがない。ご冥福をお

祈りしたい。詳細については「トムラウシ山遭難はなぜ起きたのか 羽根田治 ヤマケイ文庫」参照のこと。

二件目は2012年11月5日中国張家口市「万里の長城」で日本人観光客4人と中国人ガイド1人のうち日本人3人が強風と大雪で遭難死亡したもの。52年ぶりの大雪であったが、これもアミューズトラベル企画。紅葉の季節、万里の長城を9日間で100キロ歩くというもの。50センチの積雪で除雪車が出動したという。予期せぬ自然災害によるものではあるが、この件も中止権限を含め、指示命令系統の不備を指摘された。

自然災害を恐れてばかりい

漢詩を楽しむ

名誉院長 飯島崇史

福山市丸の内には福山城、

ふくやま美術館、護国神社な

どとともに、ふくやま文学館

がある。福山の名誉市民であ

る井伏鱒二など、福山広域圏

ゆかりの文学者の顕彰を目的

に建てられ、井伏鱒二の生家

をもとにデザインされている

という。一階展示場には、英

文学者福原麟太郎、童話作家

葛原しげる、ミステリー作家

島田莊司、自伝的小説「放浪

記」で名を成した尾道の林芙

美子、歴史時代小説家今井絵

理子氏などの紹介があり、第

2〜5展示場では井伏鱒二の

作品や書斎の紹介がなされて

いる。福山誠之館高校出身で

処女作「山椒魚」はあまりに

も有名だ。そのほか「ジョン

万次郎漂流記」、被爆体験に

基づく「黒い雨」も広く人口

に膾炙されている。意外で

あったのは翻訳の業績で、私

が子供の頃愛読していた「ド

リトル先生航海記」などの一

連のシリーズ全12巻の訳者

が井伏鱒二であったことを、

大人になって孫のために本を

購入したとき初めて知った。

この本が好きだったのは非常

に読みやすかったからであ

り、なるほど井伏氏の訳で

あったかと、今更ながら納得

した次第である。

8年ほど前、新聞広告で松

下緑著、「サヨナラ」ダケガ

人生力（漢詩七五訳に遊ぶ）

という本を見つけて購入し

た。ありきたりの返り点や送

りを付けて読む漢詩和訳の本

と異なり、中には漢字カタカ

ナ交じりで、遊び心満点の漢

詩戯訳が満載されており、読

めば読むほど井伏鱒二や松下

緑氏の軽妙洒落な秀作の数々

に、舌を巻くばかりである。

そのうちのいくつかを紹介す

る。

本の表題となっているこの

有名な文言。于武陵（うぶりよ

う）の漢詩、「勸酒」を井伏

鱒二が訳して「厄除け詩集」

に掲載した一節で、弟子とも

いうべき太宰治が酔うといっ

も口にするうち世に広まり、

其の詩句のとおり太宰は玉川

上水に身を投げて果ててし

まった。

「勸酒」于武陵

君に勧む 金屈きんくつし扈

満酌 辞するを須もちいず

花はな発はなけけば 風雨多し

人生 別離足る

コノサカズキヲ受ケテクレ

ドウゾナミナミツガシテオクレ

ハナニアラシノタトエモアルゾ

「サヨナラ」ダケガ人生ダ

井伏鱒二 訳

（99年版ベスト・エッセイ

集 文芸春秋社）、さだまさ

しが井伏鱒二の「厄除け詩集」

の朗読をしているが、そのあ

との対談で、井伏が林芙美子

に尾道での講演に誘われて、

そののち因島から船で帰る

時、突然林芙美子は船室に駆

け込んで「人生は左様ならだ

けね」と言って泣き伏したこ

とが判明した。その時、井伏

は何とも嫌だと思ったそうだ

が、後に「勸酒」于武陵を訳

すときに林芙美子のせりふを

意識して「サヨナラ」ダケガ

人生ダと和訳したそうであ

る。これに対し松下緑は

金ノサカズキヒトイキニ

ホシテカエシテクレタマエ

花ガヒラケバアメニカゼ

人ハワカレテユクモノヲ

と訳した。

サヨナラダケガジンセイダ

という断定に違和感を持った

からである。

つぎに孟浩然の「春暁」を
見てみよう。

春眠曉を覚えず

処処啼鳥を聞く

夜来風雨の声

花落つること知る多少

ハルノネザメノウツツデ聞ケバ

トリノナクネデ目ガサメマシタ

ヨルノアラシニ雨マジリ

散ツタ木ノ花イカホドバカリ

井伏鱒二 訳

ネムタイ朝ノユメゴコチ

チュンチュン雀モ鳴イテイル

昨夜ヒトバン雨風アレタ

花モヨッポド散ツタロウ

松下緑 訳

つづいては菅茶山の漢詩。

酒席で酔っ払いから扇子に何

か書いてくれとせがまれて書

いたもの。

酒人某出扇索書

一杯人呑酒

三杯酒呑人
不知是誰語
我輩可書紳

一杯人が酒を呑み
三杯酒が人を呑む
是れ誰の語か知らざれど
我が輩は紳に書す可し

井伏鱒二 訳

ハジメハ人ガ酒ヲ呑ミ
シマイニ酒ガ人ヲ呑ム
誰ノ言葉力知ラネドモ
飲ンベハ肝ニ銘ズベシ

松下緑 訳

最近、職員の結婚式に來賓
で挨拶を頼まれることはとん
となくなつたが、昔は女性側
の來賓として祝辞を述べるこ
とがあつた。男性側の來賓に
劣るような内容ではかわいそ
うなので、しばしば格調高く
「詩經」の祝婚歌「桃夭」を
用いた。

桃の夭夭たる

灼灼たる其の華
之子于に帰ぐ
其の室家に宜しからん

桃の夭夭たる
有蕢たり其の実
之子于に帰ぐ
其の家室に宜しからん

桃の夭夭たる
其の葉蓁蓁たり
之子于に帰ぐ
其の家人に宜しからん

「夭夭」若く美しいさま
「灼灼」花が盛んに咲くさま
「蓁」木の実のふくらむさま
「蓁蓁」葉の茂りあうさま

大意は述べたと思うが、参
列者の中でこの漢詩の価値を
理解した人がどれほどいた
か、今から思えば自己満足に
過ぎなかつたようにも思え
る。独りよがりで、新婦には
申し訳ないことであつたと反
省している。

「痴漢しましたよね!？」
と言われたらどう行動するの
が正解なのか。よく候補に挙
げられる対応は①逃げる、②
名刺を渡して立ち去る、③お
となしく警察署に行く、と
いったところでしょうか。

まず①は逃走を完遂さ
せねば意味がありません。
相当な身体能力と体力が
求められ、無数に存在す
る監視カメラをかくぐ
る必要もあります。到底
現実的とは思えません。
逃亡の過程で被害者や通
行人を怪我させたり線路
に飛び降りて電車を止め
たりすれば別の罪にも問
われ巨額の賠償金が追加
で乗ってくる可能性も。逃亡
を図ってホームから飛び降り
た被疑者が死亡したケースも
あります。そして捕まつたと
きは「やってないならなぜ逃
げた」と言われ、本来は逮捕
だけで済んだはずが勾留まで
されて社会的死の危険が高ま

～プロムナード～

痴漢と言われた時には

士道法律事務所 弁護士 飯島亮士

る。リスク高過ぎです。
次に②、その人のものかど
うかもわからない名刺など受
け取って犯人(らしき人)が
その場を去ることを許す被害
者などいるのでしょうか。引
き止められて結局①か③にな
るのがオチです。し
かもこの場合、本来
なら被害者に知られ
ずに済んだはずの勤
務先を知られてしま
うというオマケがつ
いてきます。
というわけで消去
法から③しかありま
せん。ポイントは「痴
漢です!」と言われ
た時点で『周囲の乗
客を巻き込むように触ってい
ないことを理由とともに大声
で告げる』ということ。注目
を集めて目撃者や真犯人が離
散してしまうのを防ぐため
です。
逃げる素振りを見せてはい
けません。逃げようとする

被害者や通行人は追いかけて
捕まえようとしします。すると
現行犯人逮捕が成立し、警察
が来た時点で逮捕状態の引継
となつてしまいます。やった
やってないの言い争いに留
まっていれば警察が来ても任
意同行となる可能性が多少残
るのです。
警察署に行つた後は状況と展
開次第です。「故意ではない
が当たつたかもしれない」と
示談交渉を試みるか、刑事裁
判も視野に入れて否認の態度
を貫くか。弁護士とよく相談
して決めてください。
以上は「触っていない」場
合の対処法です。本当に触つ
た場合は余計な弁解も抵抗も
せず素直に認めてください。
そうすれば逮捕されても一日
二日の短期間で済みます。そ
して示談をまとめれば前科多
数というのでない限りまず不
起訴となります。その後は猛
省して二度と痴漢などしない
でください。



ニース雑感

「400年」ブナ」倒木

名誉院長
飯島崇史

3月27日の読売新聞で秋田県藤里町の岳岱^{だけだて}自然観察教育林にある、白神山地のシンボルともいえるべき巨大ブナ「400年ブナ」が倒れたことを知った。今年の東北地方の豪雪はすさまじかった証左でもある。1993年白神山地のブナ原生林はユネスコの世界自然遺産に認定された。その後私は2002年に白神山地をおとずれた際、その雄姿を目にしていたので知人の訃報に接したような気がし

た。樹高26m、幹周4.85m、推定樹齢400年。堂々たる風格を備え、耳を当てる樹皮の下を水が流れるような音がする。近くの枯れた古木にはクマゲラの巢が、また幹にツキノワグマの爪痕を残す樹もある。

ブナを漢字で書くと、山毛櫨（葉に毛の生えた山櫨）櫨（価値のない樹）となる。玩具や杓子には使えるが、柱や家具としては不向きだといわれている。狂いが生じたり耐久性に欠けるため、炭としても火持ちが悪く、不適とされている。利点は針葉樹林と異なりブナ林は明るく、保水能力が高く森のダムと言われる所以である。西洋では文字を書く材料としてブナの皮を利用した。この皮片を bokos といい、これが本（book）やブナ（英語で beech, ドイツ語で Buche）の語源となった。

日本のブナと、ヨーロッパブナは異なり、日本では豪雪地帯に生息するため雪の重みで根元から横に曲がり、林床には笹などが生い茂り、歩きにくい。対してヨーロッパブナ生息地はメキシコ湾流で温かく、林床は広くジプシーの生活場所を提供している。その模様はシューマンの有名な歌曲「流浪の民」（原詩：ガイベル、訳詩：大倉小三郎）に見られるごとくである。原詩をはるかにしのぐ名訳との評価が高いので、ここに紹介しておく。

「流浪の民」

ブナの森の景隠れに

宴（うたげ）寿（ほが）い賑（にぎ）はしや

松明（たいまつ）明く（あかく）照らしつ

木の葉敷きてうつついする

これぞ流浪の人の群れ

眼（まなこ）光り髪清ら

ニールの水に浸されて
きらきら輝けり

燃ゆる火を囲みつ

強く猛き男安らふ

女（おみな）立ちて忙しく

酒を酌みてさし巡る

歌い騒ぐ其の中に

南の 邦（くに）恋ふるあり

悩み寂う祈言（ねぎごと）を

語り告げる媼（おうな）あり

愛（めぐ）し乙女舞い出でつ

松明明く照りわたる

管絃の響き賑はしく

連れ立ちて舞ひ遊ぶ

既に歌ひ疲れてや

眠りを誘ふ夜の風

慣れし故郷を放たれて

夢に樂土求めたり

東（ひながし）空の白みては

夜の姿かき失せぬ

ねぐら離れ鳥鳴けば

いづこ行か流浪の民

蒼生 (2022年7月号)

発行 福山市曙町3丁目19番18号
医療法人蒼生会楠本病院
TEL (084) 954-3030
FAX (084) 954-9085
発行人 名誉院長 飯島崇史
発行日 2022年7月1日

理念

地域医療のニーズに応え住民の皆様の信頼を得る医療をめざします

基本方針

- ・急性期から慢性期さらには在宅支援まで含めた幅広い医療を提供いたします
- ・患者さんの安全を最優先に考える医療を行います
- ・新しい技術と知識の習得に努め、良質の医療を提供できるよう努力します
- ・快適な療養環境づくりをめざします